

兵衛だより



理事会報告

- 第4回 理事会**
令和4年11月12日(土) 13:30～16:00
- (1)協議事項
各委員会次年度事業案、新入会員承認、その他
- (2)報告事項
会務報告、会議報告、事業報告、委員会報告、会計報告
会員動態、兵庫県歯と口腔の健康づくり啓発月間記念事業
兵庫県歯科衛生士センター事業
人材確保に向けた市町・団体支援補助事業、その他
- (3)その他
役割分担、会員発送、その他
- 第5回 理事会**
令和5年1月14日(土) 13:30～16:00
- (1)協議事項
令和5年度事業計画(案)・収支予算(案)、その他
- (2)報告事項
会務報告、会議報告、事業報告、委員会報告、会計報告、
会員動態
職員の雇用、兵庫県歯科衛生士センター事業
人材確保に向けた市町・団体支援補助事業、その他
- (3)その他
役割分担、会員発送、その他



会務報告

- 令和4年
- 9月22日(木) ●兵庫県歯科衛生士センター運営協議会
24日(水) ●近畿デンタルショー
29日(日) ●兵庫県包括的フレイル対策推進事業
第1回フレイル対策強化推進会議
- 10月1日(土) ●10月三役会、第4回常務理事会
4日(火) ●歯と口川柳コンテスト第二次審査委員会
7日(金) ●精神障害者歯科包括ケア体制整備事業に係る精神科病院、
施設職員対象打ち合わせ
神戸市歯科医師会・兵庫県歯科衛生士会連絡協議会
- 13日(木) ●歯科診療所等における認知症対応調査及び事例集事業打ち合わせ会
歯科診療所等における認知症対応調査及び事例集事業検討会議
- 19日(水) ●第3回兵庫県医療職団体連絡協議会
22・23日(土・日) ●ぼうさいこくたい2022
25日(火) ●第4回神戸市フッ化物塗布モデル校実施のための意見交換会
26日(水) ●第1回神戸市多職種連携による口腔機能管理に関する専門部会
27日(木) ●第2回兵庫県乳幼児からの歯及び口腔保健対策推進会議
29日(土) ●歯科事業功労者(団体)厚生労働大臣表彰式典
30日(日) ●神戸市訪問口腔ケア推進事業 登録歯科医師・歯科衛生士連絡会
- 11月2日(水) ●定期監査(定例監査)、11月三役会
3日(木) ●兵庫県歯及び口腔の健康づくり推進大会
(式典・歯科衛生士会ブース出展)
- 5日(水) ●歯科診療所等における認知症対応調査及び事例集事業打ち合わせ会
支部長及びセンター担当者連絡会
- 16日(木) ●第2回神戸市歯科口腔保健推進検討会議
17日(金) ●卒後研修必修プログラム検討会議
18日(土) ●第2回神戸市歯科口腔保健推進懇話会
26日(土) ●職員採用面接、兵庫県公衆衛生協会中央研究会・表彰
27日(日) ●選挙管理委員会
- 12月3日(土) ●12月三役会、第5回常務理事会
4日(日) ●日本歯科衛生士会災害歯科保健歯科衛生フォーラム
8日(木) ●兵庫県プライマリ・ケア協議会 総会
兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会第3回理事会*
- 11日(日) ●近畿ブロック連絡協議会・ブロック研修会*
15日(木) ●口腔健康管理地域支援リーダー登録事業検討会議
17日(土) ●日本歯科医師会災害歯科保健医療体制研修会
19日(月) ●兵庫県介護予防・生活支援推進会議*
22日(木) ●職員採用面接、第2回歯科診療所等における認知症対策検討会議
第2回兵庫県歯科衛生士センター運営協議会
●西宮市委託事業打ち合わせ
- 令和5年
- 1月7日(土) ●1月三役会
12日(木) ●兵庫県医師会新年祝賀会 *印 web開催



新年を迎えて

新たな活動のために しっかりと足元の確保と 更なる飛躍の年に

新年を迎え、会員の皆さんやご家族が、健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

今年に入り、感染症が収束に向かうと期待していたところですが変異を繰り返しながら、第8波を迎え予断を許さない状況となっています。

今年の干支は、癸卯(みずのと・う) 飛躍や成長、回復、向上の年などと言われています。

一方、高く遠くに飛躍するには、足元をしっかりと固めておく必要があります。また、うさぎの耳のように、常にアンテナを高く近くや遠くからの正しい情報を得たいものです。

さて、昨年は、これまでの諸先輩の皆様や支部活動が評価された年でもあり、形として厚生労働大臣表彰を受賞することができました。

また、兵庫県歯科衛生士センターの3年間の活動が評価され、兵庫県公衆衛生協会中央研究会において優秀賞を受賞しました。さらに、長年の役員の貢献に対しても、知事表彰をはじめとそれぞれの活動団体の表彰を受賞することができました。本会が社会的に貢献していることが公に認められることは大きな意義があります。今後も地域や県民に貢献する活動を続けていきたいと思っています。

また、昨年は、兵庫県が歯科単独条例を制定し施行の年でもあり、関連行事の大会等に後援団体として参加し次のステージに移行した年でもありました。

昨年より、新たな事業として、兵庫県の委託事業と補助事業で認知症対応に関する事業を展開しています。

兵庫県からの委託事業は、兵庫県看護協会と本会に委託された「歯科衛生士のための認知症対応力向上研修会」事業で、すでに7月10日に実施し全ての支部からの参加者101名が兵庫

公益社団法人 兵庫県歯科衛生士会
会長 高橋 千鶴



県知事より修了証が交付されました。さらに、認知症関連事業として「歯科診療所等における認知症対応調査及び事例集」事業の調査を行っているところです。年度末までに事例集を作成し関係機関等に配付します。

また、兵庫県歯科衛生士センターの3年間のまとめの準備をしています。昨年には、マスコット名もプロフィールも決まり、これから支部を中心に身近なマスコットとして周知していきます。

令和5年度事業は、継続5年以上の見直しを行い本会事業、兵庫県歯科衛生士センター事業、行政からの委託事業や補助金事業の決定後に最終的に決めていきます。

今年は、昨年に引き続き次の5項目の活動の拡大と深化をしていきたいと思っています。

- 1 地域に貢献している支部活動を見える化し、魅力ある会として発信する。
- 2 次世代歯科衛生士へ持続可能な継承を行う。
- 3 職能別業務の分析と新たな展開を考える機会を持つ。
- 4 情報配信と新たな活動につながる声を聴く。
- 5 豊富なベテラン歯科衛生士ならではの分野を開拓する。

会員の皆様の力により、さまざまな事業を通じて、一歩でも前進し実現できるように役員および各委員会、事務局等が一体となって運営をしていきたいと思っていますので、更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

今年は、卒業生を輩出している歯科衛生士養成機関4校に加えて大手前短期大学の卒業生が歯科衛生士として誕生します。

また、今年4月には、県下の歯科衛生士養成機関が2校増え9校となります。明るいニュースが続きます。

会員の皆様の更なるご協力とご支援をよろしくごお願い申し上げます。

年会費の納入は
お済みですか？



会費納入のお願い

指定した口座にお金は入っていますか？
お振込みの方は、3月末が期限となります。

※自動引き落としの場合は振込手数料はかかりません。
この機会に自動引き落としへの切り替えをお勧めします。

※ご不明な点などございましたら、
兵庫県歯科衛生士会までお問い合わせください。

編集後記

コロナ禍になり3年ぶりの行動制限なしの年末年始でしたが、みなさんいかがお過ごしでしょうか？昨年は世界情勢の変化で色々な影響がありました。屋外ではマスクを外せるようになり多くのイベントが再開できるようになりました。兵庫県歯科衛生士会の研修会においてもリモート開催だけでなく、集合型で顔を合わせて研修会ができるようになり多くの学びの場が帰ってきたように感じます。今年は兎年ということでみなでまた新しく学び高め合える飛躍の年にしたいですね。さて、今年も兵衛だよりをみなさん楽しんでいただけるよう様々な内容をお届けしてまいります。より良いものになるように皆様のご意見ご感想をお寄せください。

公益社団法人
兵庫県歯科衛生士会

〒650-0003 神戸市中央区山本通5-7-18 兵庫県歯科医師会館3F
TEL 078-341-6471 FAX 078-945-7871
E-mail: hdha@silver.ocn.ne.jp https://hyogo-dh.or.jp



兵庫県歯科衛生士会
事務所内



兵庫県歯科衛生士センター
https://hyogo-dh.or.jp/dhc
登録もこちらからどうぞ



ひょうご歯科衛生士
人材センター無料職業紹介所

http://zinzai.hyogo-dh.com

表彰

令和4年11月に受賞されました。
おめでとうございます。



令和4年度
兵庫県自治賞
(健康功労)
清水 豊子 氏



令和4年度
兵庫県公衆衛生協会長表彰
(公衆衛生功労)
石井 美和 氏

第9回 歯科衛生学術フォーラム

特定研修

日時 令和4年11月20日(日)10:00~16:00
場所 兵庫県歯科医師会館(リモート型)

第1部 歯科衛生学術研究会 10:00~12:00

周術期口腔機能管理における術後肺炎発生状況の調査報告

阪神南支部 福田 陽子 氏



口腔粘膜炎に対するエピシル®
口腔溶液の効果や有効性について

神戸支部 岡崎 葉菜 氏



頭頸部がん放射線療法における口腔カンジダ症に対するミコナゾール貼付薬の有効性について

神戸支部 西井 美佳 氏



歯科衛生士学生における昼食後のブラッシング習慣への取り組みと結果について

姫路歯科衛生専門学校 大西 美優 氏 竹内 れみ 氏

乳酸菌と歯周病について

兵庫県立総合衛生学院 柏木 彩香 氏 川尻 亜希奈 氏

歯科衛生士勤務実態調査結果からの考察

阪神南支部 清水 豊子 氏



丹波支部における災害支援体制について

丹波支部 占部 美由 氏



コロナ禍における歯科衛生士学生の唾液の変化

中播磨支部 井上 早紀 氏



神戸市訪問口腔ケア推進事業の5年間の実績報告と今後の課題

神戸支部 高見 美佳 氏



合同防災訓練で学んだ災害支援・歯科保健活動

北播磨支部 厨子 久美子 氏



第2部 シンポジウム 13:00~16:00

テーマ『神経系難病患者への他職種のかかわり』



◆基調講演 13:00~14:00

「神経難病を理解するための基礎知識」

舟川 格 先生

医療法人敬愛会 三田高原病院・医師



◆シンポジスト講演・ディスカッション 14:05~16:00

神経難病患者への多職種の関わり

中村 友香 氏

加東健康福祉事務所 地域保健課 保健師



唯、居る(おる)ことの意味
普通と自由と安心と

李 国本 修慈 氏

有限会社しえあーど 障害者支援相談員



ALS患者への在宅で行う口腔健康管理

中村 裕美 氏

兵庫県歯科衛生士会 神戸支部



第9回歯科衛生学術フォーラムはリモート配信で開催され、歯科衛生学術研究会は会員41名・学生4名の計45名、シンポジウムは会員38名の参加がありました。

歯科衛生学術研究会では、さまざまな就業先の業務への取り組みや研究成果について、また学生の皆様からは探究心をもって課題に取り組み、今後に生かされる発表がありました。

シンポジウムは「神経系難病患者への他職種のかかわり」をテーマに基調講演では三田高原病院 医師舟川格先生より、神経難病を理解するための基礎知識を分かりやすく講義いただきました。3名のシンポジストの先生方からは、医療・福祉などの多職種だけでなく家族や地域などの人との関わりで心の支えとなること、歯科衛生士として専門性をもって情報の発信と共有することの大切さを学び、さらに知識を深く支援の一員として関わることの必要性を感じました。リモートでの質疑応答も活発に行われ、有益な研修会となりました。

卒後研修必修プログラム スペシャリストコース開催しました!

令和4年度卒後研修必修プログラムは12月の開催にて終了致しました。多くの皆様に受講していただき、ありがとうございました。

今年度最終のプログラムは、スペシャリストを目指す8名(会員7名、会員外1名)の方にご参加いただいたスペシャリストコースです。第1回目は11月27日、リモート型による講義とワークショップでした。認知症についての知識と対応、日常の業務につなぐ研究など専門スキ

ルを高める講義、今後活躍する歯科衛生士にとって必要なスキルを醸成するグループセッションです。第2回目の12月4日の講義とワークショップは、集合型での研修としました。2回目のグループセッションは、11月受講からの顔なじみのメンバーで、親近感のなかディスカッションが活発に行われました。

次年度より、卒後研修必修プログラムは生まれ変わります。ライフステージに寄り添いつつ、好奇心や向上心を持って



特別講師 上間 京子 氏

参加できる研修会を目指しています。今回の会報では、新たな計画を案内できるよう随時準備を進めております。どうぞご期待ください。来年度も、基礎研修委員会一同ががんばりますのでよろしくお願いたします。

健康公開講座

日時 令和4年12月18日(日)14:00~16:00
場所 兵庫県歯科医師会館(ハイブリッド型)



長谷川 巧実 氏

「高齢者のインプラント治療の基本」

長谷川 巧実 氏

神戸大学大学院 医学研究科外科系講座 口腔外科学分野 准教授・歯科医師

令和4年度の健康公開講座は集合とWeb配信のハイブリッド型で長谷川巧実氏を講師に招き行われました。

「高齢者のインプラント治療の基本」をテーマに、インプラント治療をされている方が要介護者になった時の維持・管理はどのようにすればいいのかを分かりやすく講演いただきました。

89名の参加者の多くが歯科衛生士でしたが、県民向けの内容ということもあ

り、インプラント治療だけの講話ではなく、健康寿命は歯と口の健康と関係が深くフレイル予防にはまずは歯の大切さを再認識しようという話から始まりました。本題のインプラント治療の講話に関してもインプラントとは?という基本の基本から他の補綴治療との違い、治療の流れ、そしてメンテナンスの必要性を車の整備に例えるなど、セルフケアについても注意すべき事を細かく分



会場の様子

易くご講義いただきました。インプラント治療の基本的なことからしっかり学ぶことができ、診療所だけでなく在宅・施設などでインプラント治療をされた要介護者に関わる際に大いに役立つものとなりました。今回の講義で学んだことを、今後の歯科衛生士業務や歯科保健活動に生かしていただきたいと思

ペリオセミナー 専門研修

日時 令和4年11月13日(日)14:00~16:00
場所 兵庫県歯科医師会館(リモート型)



関野 倫 氏

「歯周病患者のSPTを成功させるための戦略」

関野 倫 氏

日本歯科大学 生命歯学部歯周病学講座 准教授・歯科医師

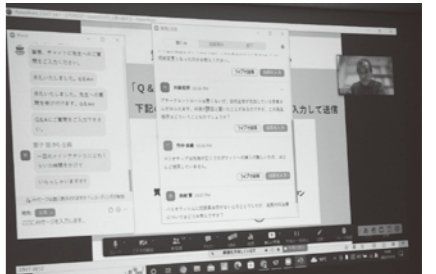
今年度のペリオセミナーは歯科衛生士が日々携わっている歯周病治療について、関野氏にご講義いただきました。

初めに歯肉炎の成り立ち、そして歯肉炎から歯周炎への移行についてわかりやすくご説明いただき、その中でプロービング時の出血が歯周炎の判断で重要であると学びました。

歯周炎の安定後はメンテナンスに移行し、歯周病の再発防止が大切である

と、先生ご自身の臨床経験を交えてお話いただきました。その中で、喪失歯のほとんどが歯周病ではなく歯根破折が原因であるとのことが印象的でした。

メンテナンス時のPMTCの意義は爽快感による動機づけであり、歯周病再発防止には、患者さん自身による口腔衛生が最も重要である。そのため、メンテナンスでは繰り返し動機づけをしながら口腔衛生指導を行うことが重要である



セミナー後に質問が次々と

と、歯科衛生士による患者指導への期待を述べられました。

最後に、深い歯周ポケットに対するエアポリッシングと超音波スケーラーによるデブリメントの効果に差異はなかったとの研究結果から、痛みの少ない方を選択した方がよいなどの実践で役に立つ内容を話され締めくくられました。

